

部門名	舗装工事
案件名	市道菅田比津線自転車通行帯整備その3工事
工期（始）	令和4年6月21日
工期（終）	令和5年2月28日
場所	春日町
事業者名	株式会社佐々木建設
代表者名	代表取締役 伊達 憲良
技術者役職	主任技術者
技術者名	松本 宏樹
工事概要	施工延長 L=298m 舗装工 A=3,607 m ² 歩車道境界ブロック L=500m 区画線工 L=400m
表彰理由	本工事は、自転車通行帯の整備にあたり、歩道部及び車道部の改良をするものである。交通量が多いため夜間工事での施工であったが、地域への丁寧な対応により事故及びトラブル無く完成させた。また緻密な施工管理を行い、精度品質の高い優良な工事がなされた。

本工事の表彰技術者である、株式会社佐々木建設の主任技術者（当時）松本宏樹氏は受賞の感想を「とても嬉しく思っています。今後の、建設業に携わる自分へのさらなるモチベーションの向上となりました。」と話す。

本工事で心掛けたことは「夜間工事ということで、騒音・振動には特に配慮しました。」と語る。また、苦勞したことについては「夏季での施工も重なったので、一緒に働く仲間たちの熱中症対策への配慮が、毎日の気苦勞でした。」と振り返った。

松本氏は仕事における今後の目標は「さらなる知識と技術の向上です。自分は、死ぬまで毎日が勉強だと思えることにしています。」やりがいについては、「やはり、『造りあげたモノがその場所に残る』と言うことだと自分は思っています。」と話す。

これから建設業界を目指す人へは「大変な仕事だとは思いますが、それゆえに、やり



がいのある仕事だとも思っています。若い人たちの仲間入りをたくさん待っています。」とメッセージを送った。

最後に、松本氏が勤務する株式会社佐々木建設について紹介してもらいました。

「株式会社佐々木建設のいいところは、若い社員が多いことと、会社が大き過ぎないことのメリットなのですが、上司との距離が近いことです。」



株式会社佐々木建設
(写真左) 専務取締役 石倉氏
(写真右) 主任技術者 松本氏